

8 萩地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

産業・地域を「支える」

- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- 生活の利便性の向上

8-a	山陰道
8-b	国道490号

等

人々のいのちを「守る」

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急車両の迅速かつ円滑な通行の確保
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

8-c	県道萩篠生線
8-d	県道萩川上線

等

災害に「備える」

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

8-e	県道益田阿武線
	国道262号

等

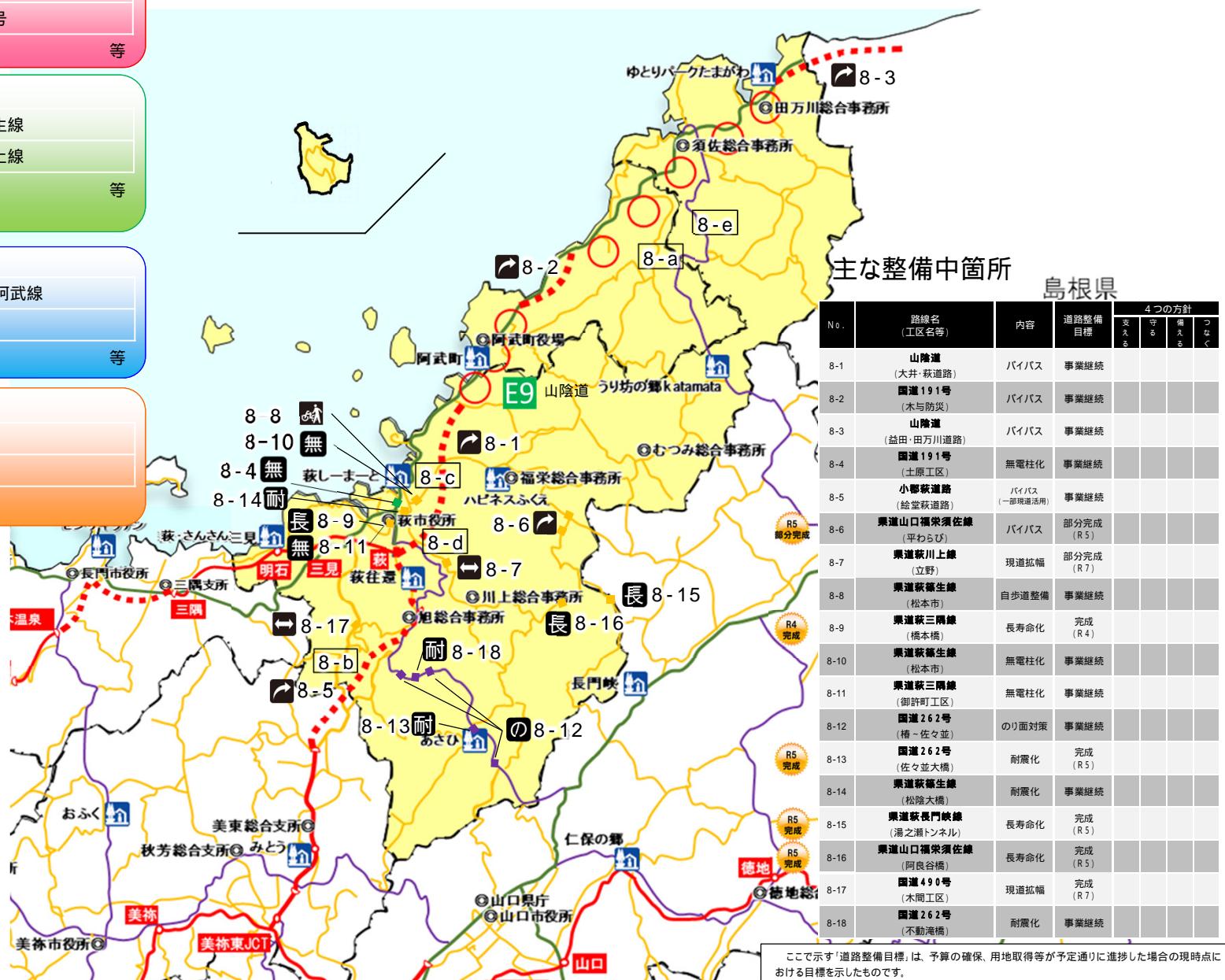
未来に「つなぐ」

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道315号	
	県道萩長門峡線

等

バイパス
現道拡幅
自歩道整備
歩道整備
交差点改良
のり面対策
耐震化
無電柱化
長寿命化
SIC スマートインターチェンジ
道の駅
市役所等



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の主要な整備箇所

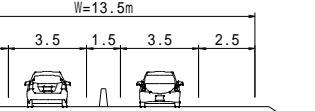
8-1 191 ROUTE 山陰道(大井・萩道路)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	L = 11.1 km
幅 員	W = 13.5 m
着 手 年 度	令和3年度

【標準断面図】 W=13.5m



総事業費約660億円



目的(効果)

- ◆ 地域の産業・観光振興の支援や、安心・安全を確保するため、交流人口の拡大や、物流の効率化等に資するとともに、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
- ◆ 高次救急医療機関への速達性、確実性を確保します。

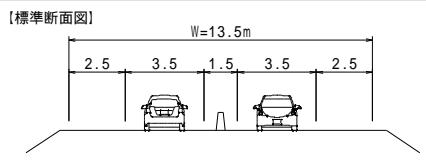
支える 守る 備える つなぐ

8-3 191 ROUTE 山陰道(益田・田万川道路)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	L = 7.1 km
幅 員	W=13.5m
着 手 年 度	令和3年度



目的(効果)

- ◆ 地域の産業・観光振興の支援や、安心・安全を確保するため、交流人口の拡大や、物流の効率化等に資するとともに、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
- ◆ 高次救急医療機関への速達性、確実性を確保します。

8-2 191 ROUTE 国道191号(木与防災)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	L = 5.1 km
幅 員	W = 12.0 m
着 手 年 度	平成29年度



目的(効果)

- ◆ 国道191号の事前通行規制区間を回避することにより、災害時の代替路を確保し、地域の安全・安心を確保します。
- ◆ 定時性、確実性が確保でき、物流の輸送機能が向上します。

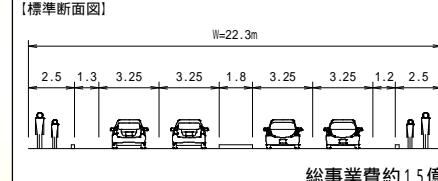


8-4 191 ROUTE 国道191号(土原工区)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	無電柱化
整 備 延 長	L = 1.6 km
幅 員	W = 22.3 m
着 手 年 度	令和元年度



目的(効果)

- ◆ 安全で快適な通行空間を確保します。
- ◆ 震災における緊急輸送道路の確保を図ります。
- ◆ 良好的な都市景観を形成します。



2 主な整備箇所(地域版)

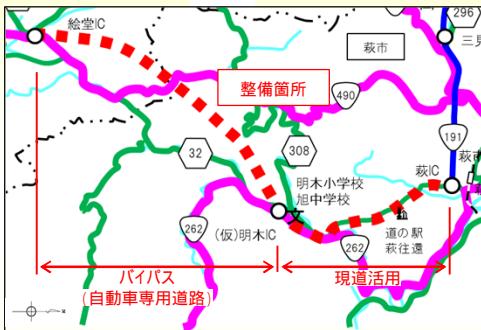
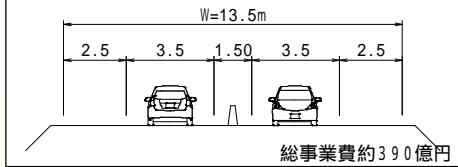
8 萩地域の主要な整備箇所

8-5 490 小郡萩道路(絵堂萩道路)

概要

内 容	バイパス(一部現道活用)
延 長	$L = 15.0 \text{ km}$
幅 員	$W = 13.5 \text{ m}$
着 手 年 度	平成26年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 空港や新幹線駅等の広域交通拠点へのアクセス性を向上します。
- ◆ 萩・美祢地域における広域観光ルートを整備し、観光振興を図ります。
- ◆ バイパス区間を自動車専用道路として整備し、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

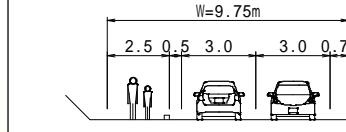


8-7 67 県道萩川上線(立野)

概要

内 容	現道拡幅
延 長	$L = 1.4 \text{ km}$
幅 員	$W = 9.75 \text{ m}$
着 手 年 度	平成17年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 萩市街地へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。

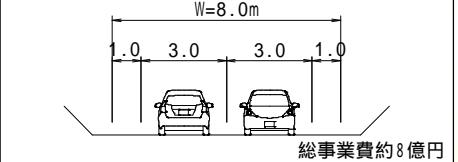
8-6 10 県道山口福栄須佐線(平わらび)

概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 1.3 \text{ km}$
幅 員	$W = 8.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成25年度

R5 部分完成

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 阿武町へのアクセス性を向上します。

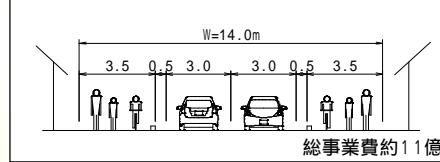


8-8 11 県道萩篠生線(松本市)

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.8 \text{ km}$
幅 員	$W = 14.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成21年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の通行の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の主要な整備箇所

8-9 県道萩三隅線(橋本橋)

支える	守る	備える	つなぐ
-----	----	-----	-----

概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 0.1 \text{ km}$
幅 員	$W = 12.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成 25 年度

R4
完成



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



8-11 県道萩三隅線(御許町工区)

支える	守る	備える	つなぐ
-----	----	-----	-----

概要

内 容	無電柱化
整 備 延 長	$L = 1.3 \text{ km}$
幅 員	$W = 12.0 \text{ m}$

目的(効果)

- ◆ 良好な景観を形成します。
- ◆ 安全で快適な歩行空間を確保します。
- ◆ 都市防災機能の向上を図ります。



8-10 県道萩篠生線(松本市)

支える	守る	備える	つなぐ
-----	----	-----	-----

概要

内 容	無電柱化
整 備 延 長	$L = 0.8 \text{ km}$
幅 員	$W = 14.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成 30 年度



目的(効果)

- ◆ 良好な景観を形成します。
- ◆ 安全で快適な歩行空間を確保します。
- ◆ 都市防災機能の向上を図ります。



8-12 国道262号(椿~佐々並)

支える	守る	備える	つなぐ
-----	----	-----	-----

概要

内 容	のり面対策
延 長	$L = 2.3 \text{ km}$
幅 員	$W = 8.5 \text{ m}$
着 手 年 度	平成 24 年度

目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の主要な整備箇所

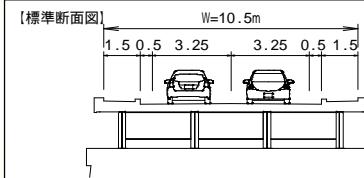
8-13 262 国道262号(佐々並大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	耐震化
延 長	$L = 0.7 \text{ km}$
幅 員	$W = 10.5 \text{ m}$
着 手 年 度	平成28年度

R5
完成



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけではなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

整備前



整備後



8-15 293 県道萩長門峡線(湯之瀬トンネル)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 0.21 \text{ km}$
幅 員	$W = 7.7 \text{ m}$
着 手 年 度	令和3年度

R5
完成



総事業費約1億円



整備前



整備後



目的(効果)

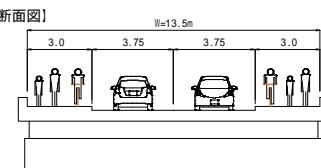
- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

8-14 11 県道萩篠生線(松陰大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	耐震化
延 長	$L = 0.31 \text{ km}$
幅 員	$W = 13.5 \text{ m}$
着 手 年 度	平成30年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけではなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



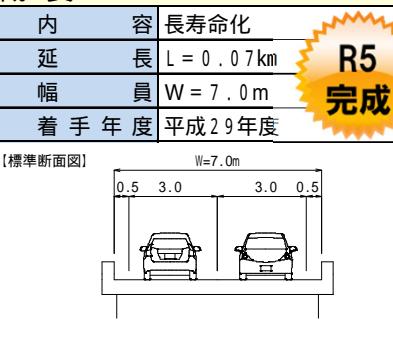
8-16 10 県道山口福栄須佐線(阿良谷橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 0.07 \text{ km}$
幅 員	$W = 7.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成29年度

R5
完成



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の主要な整備箇所

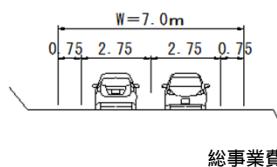
8-17 国道490号(木間)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	現道拡幅
延 長	$L = 0.4 \text{ km}$
幅 員	$W = 7.0 \text{ m}$
着 手 年 度	令和4年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 山陰道や萩市街へのアクセス性を向上します。

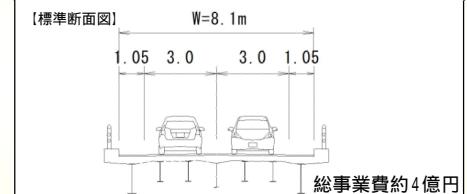


8-18 国道262号(不動滝橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

● 内 容	耐震化
● 延 長	$L = 0.06 \text{ km}$
● 幅 員	$W = 8.1 \text{ m}$
● 着 手 年 度	令和6年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけではなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

